

『図書館だより』

7月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑬	17	18	19	20	21
23	⑮	24	25	26	27	28
30	⑰	31				29

○印 休館日 月曜日
館内整理日(28日)

暑くなりましたね。という声があちこちの門から聞こえてきます。◆今月は「七夕飾りをみんなで作ろう」ということで、おりがみや短冊をたくさん用意しております。日頃の願いや未来を子ども達と一緒に、飾ってみてはいかがでしょうか。

○今月中の新聞図書のご案内

●一般図書●

天翔る白鳥ヤマトタケル小椋一葉
おもしろ雑学日本「意外」史
紀行フランス革命二〇〇年新潮社
生キ残レ少年少女 野坂昭如
江戸ことば百話 西山松之助
敦煌ものがたり 東山健吾
異議あり日本史 永井路子
日本妖怪巡礼団 荒俣 宏
中国漢方の旅 読売新聞社
向田邦子の手料理 講談社
赤かぶ検事の法廷毒本 和久峻三
こんなにも得するカード・ライフ
からだの中の元素の旅 吉里勝利
子どものためのパーティー料理
長崎市長への七、三〇〇通の手紙
径書房

ハロミセス英会話入門 池内 紀
文学の森を歩く 安西篤子
壇の浦残花抄 森 瑤子
砂の家 菊地秀行
傷だらけのマセラッティ北方謙三
妖夢特急エクスプレス 景山民夫
南洋ホテル 西村京太郎
十津川警部の対決 吉行理恵
黄色い猫
潮騒の少年 ジョン・フォックス
うつつを抜かして 田辺聖子
一ぺんに春風が吹いて 宇野千代
ロマンチック洋画劇場 林真理子
ミスター・ノースT・ワイルダー
外一六三冊

◇児童図書◇

年表 世界の歴史 全五巻
富士山麓の仲間たち
昆虫大百科
どうぶつのあしがたずかん
絵でおぼえる漢字の本 全6巻
おとうさんがいちばん
くまっこ・まぐ
おきよのかんのんさま
外五十冊

―計―

一般図書 一九二冊
児童図書 六十七冊

課題図書

第三十五回全国青少年読書感想文コンクール課題図書を購入しましたのでご利用ください。
課題図書は、一坪図書館にも備えてありますのでお近くの一坪図書館もご利用ください。

都留市一坪図書館

館 長 名	所 在 地	電 話	開館日	開 館 時 間
佐 波 佳 子	上谷 5-5-28	45-0080	日曜日	9時~12時
佐 藤 泰 道	大幡 3,417	43-2095	日曜日	8時~11時
八 代 直 之	大幡 1,541	43-3329	土曜日	13時~15時
中 江 秀 雄	金井 294	43-2096	土曜日	13時~16時
北村あや子	四日市場 1,104	43-3579	日曜日	16時~18時
平 井 貢	小形山 694	43-8408	金曜日	14時~16時
小 林 孝 道	朝日馬場 159	48-2333	日曜日	9時~16時
前 田 憲	与縄 1,284	45-0207	土曜日	14時~16時

―幻の化石魚シーラカンズ物語―
ゴンベッサよ永遠に

―新・雪国ものがたり―
▼高等学校の部
四万十川・あつよしの夏
谷は眠っていた

―富良野塾の記録―
雪はじゃまものか?
孤島の冒険
きらめきのサフィール
鶴になったおじさん
▼中学校の部
さくらめきのサフィール

―広太のイギリス旅行―
海からとどいたプレゼント
緑色の休み時間

子どもの心シリーズ1

はじめに



この稿の最初に母娘という詩を載せます。

母 娘

この子はこのままでいい
小四としての人生を歩いて
いるではないか
何が不満なのだ
何が不服なのだ
宿題を終えないのに遊んで
いることか
はい はいと素直に従わない
ことか
それはみんな
私の中にある事
この子はこのままでいい
静かに目をこらし
耳をすましてみれば
小四としての人生を
歩いているではないか
(サインズ オブ ザ タイムス誌
一九八八年二月号所載)

教育相談をしていて感じることは、今の子どもも親も大変だということ。問題のある子ども、うまく育っている子ども、心の中に何か目に見えない苦しみがあるように思えるからです。子どもも親も様々なストレスに悩まされ、傷つ

き、自信を喪失し、心の病にかかる度合が高まっているように見えるからです。

「親が変われば子どもが変わる。」と学者や実践家がいいます。親が子への対し方をちょっと変える事によって子どもがうまく育ったり、悪くなったりすると言うことです。ちょっとしたというのは、通信表の成績がさがった時、テレビばかり見ていて叱った時、万引をしたとか、いじめられて泣いて帰った時というように数えればきりがないうのです。そんな時誰でも自分の育て方は良いのかと疑います。育て方が甘いとちょっと厳しくしようと考えたり、生活にけじめをつけさせようとしめます。その時の対し方、親の生き方を変えることにより良くもなり、悪くもなります。

子どもはもとも、自立し、成長する力を持っていて、自分で行っています。自分で歩き、自分で食べ、自分で友だちを見つけれられる力がでてくるはず。ところが過保護、過干渉、つまり大事にしすぎ、世話のやきすぎによって、成長する力が阻害され、萎えていくのです。そうすると、子どもの心に間違いが生まれ、いろいろな形で障害が現れてくるのです。

この子どもの心のシリーズでは子どもを自立させる為の親のあり方を考えていきます。

教育相談室

☎(43)1111 内線214